※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校国語科書写の学習を発展させて、毛筆と硬筆の違いや用具用材の特性を知り、多様な書の古典を学ぶことにより、書写能力の向上をめざします。
・基本的な知識や体得した技術が各自の表現や鑑賞に生かされるように、単元ごとの目標設定とふり返り(自己評価)を行い、主体的な取り組みを支援します。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	書写から書道へ	・国語科書写と芸術科書道 ・姿勢・執筆法と用具・用材	a: 国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義を理解し、芸術としての「書」に関心をもち、様々な書表現を理解している。 姿勢や執筆法の基本を身につけ、用具・用材を的確に用いることができる。 b: 基本的な姿勢・執筆法および用具・用材の用い方を工夫している。 c: 国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポート	作品 出席・授業態度 振り返りシート
	硬筆	・平仮名、カタカナ、楷書	a: 日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。 b: 国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c: 国語科書写の基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。			
	漢字の書の学習①	・漢字の変遷と様々な書体 ・楷書の古典に学ぶ ・うちわ作品の制作 ・鑑賞	a: 様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美を理解し、表現技法を理解している。 b: 楷書の各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。楷書の各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 c: 各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

２学期	篆刻	・自分の名前調べ(篆書等) ・姓名印の制作 (8分の白文と3分の朱文)	a: 篆刻における分間布白を理解し、印稿を作ることができる。印刀の使い方を理解し、安全に刻すことができる。 b: 様々な材質の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わい、自分の作品に取り入れようとしている。 c: 姓名の書体調べを通じて書体の変遷について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート 作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 出席・授業態度 振り返りシート
	漢字の書の学習②	・行書の古典に学ぶ ・色紙作品への制作 ・鑑賞	a: 様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美を理解し、表現技法を理解している。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 c: :様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて関心をもち、理解しようとしている。字形や用筆の特徴に関心をもっている。古典の書美と表現方法に関心をもち、意欲的に身につけようとしている。			
	漢字仮名交じりの書の学習	・漢字仮名交じりの書の名筆の鑑賞 ・カレンダー作品の制作 ・鑑賞	a: 漢字仮名交じりの書の名筆の美しさやよさを理解しようとしている。漢字仮名交じりの書の創作の準備と手順を理解している。 b: 自分の中にある作品のイメージに表現を近づけ、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫して表現することができる。 c: 漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。書き上げた作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をすることができる。			

※令和４年度以降入学生用

３学期	仮名の書の学習	・仮名の基本 ・仮名の古筆に学ぶ(連綿、変体仮名、散らし書き、料紙について) ・色紙作品(自作俳句)の制作 ・鑑賞	a: 仮名の書の創作の準備と手順を理解している。仮名の基本的な表現方法を理解している。 b: 仮名の書の創作の手順を踏み、自分らしい表現を工夫している。 c: 仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 出席・授業態度 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度